

2016年1月13日

**2016年5月期 第2四半期 決算概要**

- インソーシング(委託・請負)、アウトソーシングをはじめ、多くのセグメントで増収となり  
売上高は **127,602** 百万円 (前年同期比 + **12.1%**)
- 売上総利益は、インソーシングやアウトソーシング等の増収と、再就職支援事業の拡大と生産性向上で粗利率が上昇し、増益
- 販管費は **M&A** や業容拡大に加えて、一部前倒しで投資を実施したことから増加し  
営業利益は **1,072** 百万円 ( **10.3%**)、経常利益は **977** 百万円 ( **12.7%**) と減益  
親会社株主に帰属する四半期純損失も **334** 百万円と減益

**1. 第2四半期(累計)連結業績** (2015年6月1日~2015年11月30日)

(百万円)

	2015年5月期	2016年5月期	増減	増減率
売上高	113,805	<b>127,602</b>	+13,797	+12.1%
売上総利益 (売上比)	22,461 19.7%	<b>25,435</b> <b>19.9%</b>	+2,974 +0.2pt	+13.2%
販売費及び一般管理費 (売上比)	21,265 18.7%	<b>24,362</b> <b>19.1%</b>	+3,097 +0.4pt	+14.6%
営業利益 (売上比)	1,195 1.1%	<b>1,072</b> <b>0.8%</b>	122 0.3pt	10.3%
経常利益 (売上比)	1,118 1.0%	<b>977</b> <b>0.8%</b>	141 0.2pt	12.7%
税金等調整前四半期純利益 (売上比)	1,088 1.0%	<b>985</b> <b>0.8%</b>	103 0.2pt	9.5%
親会社株主に帰属する四半期純損失 (売上比)	155 -	<b>334</b> -	178 -	-
1株当たり四半期純損失	4円22銭	<b>9円08銭</b>	4円86銭	-

**2. セグメント別連結業績** (セグメント間取引消去前)

	売上高	前年同期比	営業損益	前年同期比
HRソリューション	126,038	+12.8%	3,866	+18.6%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)他	105,818	+11.4%	755	44.3%
エキスパートサービス(人材派遣)	65,708	2.9%	755	44.3%
インソーシング(委託・請負)	34,375	+53.7%		
HRコンサルティング、教育・研修、その他	2,924	+8.6%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	2,809	+25.5%		
キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)	8,267	+21.6%	1,628	+127.8%
アウトソーシング	11,952	+20.3%	1,481	+24.7%
ライフソリューション パブリックソリューション	2,734	10.2%	356	-
消去又は全社	1,171	-	2,437	-
合計	127,602	+12.1%	1,072	10.3%

当期よりセグメント区分を変更。2015年5月期は変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載。増減率は組み換え後の数値と比較

## セグメント別業績

( )内は前年同期比

当期よりセグメント区分を変更。前年同期比については、2015年5月期の数値変更後のセグメント区分に組み替えた数値と比較

### HRソリューション

#### エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

**売上高** 105,818 百万円(+11.4%) **営業利益** 755 百万円( 44.3%)

##### (エキスパートサービス)

**売上高** 65,708 百万円( 2.9%)

- サービス業やメーカーをはじめ、幅広い業界で受注増加
- 専門性の高い人材ニーズ増加のため、実務や資格取得に役立つ教育・研修プログラムの提供と、キャリアコンサルティングを行う有資格カウンセラーの育成に注力し、キャリアチェンジ、キャリアアップを全面支援
- 第1四半期末にSalesforce導入のコンサルティングサービスや、クラウド技術者の育成・派遣を行う(株)パソナテキーラを持分法適用会社から連結子会社に変更。IT分野の即戦力となる人材育成にも注力
- 前年同期は連結納税移行に伴い一部子会社が8ヶ月決算であったため、その影響を除く実質ベースでは増収

##### (インソーシング)

**売上高** 34,375 百万円(+53.7%)

- 一部案件の縮小等がみられたもののコスト削減や経営効率向上などの効果が評価され、新規顧客の開拓進む
- パブリック分野は、保育関連事務など新しい分野伸長。行政事務代行も引き続き拡大。IT企業を中心に業務提携を進め提案領域がさらに拡張
- 2015年4月に連結子会社化したパソナ・パナソニック ビジネスサービス(株)(旧パナソニック ビジネスサービス株式会社)、同社子会社の新日本工業(株)の総務事務アウトソーシング事業が、当期から業績寄与

##### (HRコンサルティング、教育・研修、その他)

**売上高** 2,924 百万円(+8.6%)

- キャプラン(株)が運営する「Jプレゼンスアカデミー」は、外国人旅行者に対応する接客、おもてなし、語学などのインバウンド関連教育や、組織力を高めるマネジメント研修など、研修事業が堅調に推移
- キャプラン(株)が導入・コンサルティングを行っているタレントマネジメントシステム(サクセスファクターズ)は新規顧客増加。既存顧客も対象者や利用メニューが拡大

従業員のスキル・経験等の可視化と評価の一元管理を可能にして企業の人材活用・育成を支援するSAPグループの人材管理システム

##### (グローバルソーシング(海外人材サービス))

**売上高** 2,809 百万円(+25.5%)

- 北米やASEANへの日系企業の進出が引き続き増加し、人材需要は堅調に推移。人材紹介は北米をはじめ多くの地域で成約増加
- 人材派遣は北米やインドで稼働者数の増加や時給の上昇が見られ、アウトソーシングは給与計算代行やBPOなどの案件増加
- 北米の「Pasona NA, Inc.」が2015年7月にダラス支店、10月にサンフランシスコ支店の開設
- 同じく10月にインドネシアの人材サービス会社「PT. Dutagriya Sarana」を子会社化。現地法人「PT Pasona HR Indonesia」と連携
- ベトナムの「Pasona Tech Vietnam Co., Ltd.」が日系独資の人材サービス会社として初の労働派遣ライセンスを取得し、人材派遣事業を開始

以上の事業のセグメントの売上高は増収。M&Aでインソーシングは大幅増収となった一方、償却等によるコストの増加と、案件の規模縮小等で固定費負担が一時的に膨らみ、営業利益は755百万円(前年同期比 44.3%)と減益

### キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)

**売上高** 8,267 百万円(+21.6%) **営業利益** 1,628 百万円(+127.8%)

- 人材紹介は、コンサルタントの教育で利用者満足度を高め、新人の戦力化、コンサルタントの定着率の高さなどが好循環を生み、順調に伸長
- 管理職層の成約増加。女性の転職マーケットで先行し、女性管理職候補の成約も好調
- 再就職支援は、企業の雇用調整は減少しているが着実に受注獲得。起業支援、U・Iターンなど、セカンドライフ支援のための福利厚生としての導入増加。コンサルタント1人当たりの生産性を高め、再就職決定の早期化進む

## アウトソーシング

**売上高** 11,952 百万円 (+20.3%) **営業利益** 1,481 百万円 (+24.7%)

- 主力の福利厚生事業は提案営業を積極的に行い、中堅・中小企業の開拓にも注力し、カフェテリアプラン導入企業拡大
- 報奨金等をポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も堅調に推移
- 取引先と協働で個人顧客向けサービスを展開するパーソナル事業の会員数大幅増加

## ライフソリューション、パブリックソリューション

**売上高** 2,734 百万円 (-10.2%) **営業損失** 356 百万円 (前年同期は営業損失 34 百万円)

- 政府の待機児童解消や女性活躍推進に向けた施策が追い風となり、保育関連事業の(株)パソナフォスターは保育施設の新規受託や学童クラブの運営増加。(株)パソナライフケアも介護施設の運営や家事代行サービスが堅調に推移
- 前年同期に8ヶ月分の業績を計上したことから減収だが、実質的には増収
- 保育関連事業の業容拡大に伴う労務・人件費の増加や、地方活性化事業の追加投資が膨らむ

## 消去又は全社

**売上高** 1,171 百万円 **営業利益** 2,437 百万円

- グループ間取引と、持株会社(株)パソナグループの販管費等含む
- 経営基盤強化施策としてITインフラ、経理・給与計算等のグループシェアード機能の拡充を図る

## 3. 財政の状況

(百万円)

	2015年5月期 期末	2016年5月期 2Q末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	58,129	50,440	7,689	13.2%	現金及び預金の減少 7,236 百万円、 受取手形及び売掛金の減少 272 百万円等
固定資産	30,512	29,724	787	2.6%	
資産合計	88,641	80,164	8,477	9.6%	
流動負債	46,267	39,107	7,160	15.5%	買掛金の減少 2,342 百万円、 未払消費税等の減少 3,581 百万円等
固定負債	12,753	13,354	600	4.7%	
負債合計	59,021	52,462	6,559	11.1%	
純資産合計	29,620	27,702	1,917	6.5%	四半期純損失 334 百万円、 配当金の支払 441 百万円、 非支配株主持分の減少 386 百万円等
自己資本比率	24.1%	24.7%	+0.6pt		

## キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当期末残高13,565百万円

(百万円)

	2015年5月期 2Q(累計)	2016年5月期 2Q(累計)	前年同期 比較	当期の資金増減の主な内訳
営業活動によるCF	781	4,919	5,700	税金等調整前四半期純利益 985 百万円、 減価償却費 1,618 百万円、売上債権の減少 401 百万円等、営業債務の減少 2,685 百万円、 未払消費税等の減少 3,570 百万円、 法人税等の支払額 1,088 百万円等
投資活動によるCF	1,800	497	+1,303	固定資産の売却による収入 869 百万円等、 固定資産の取得による支出 1,269 百万円、 投資有価証券の取得による支出 482 百万円等、
財務活動によるCF	3,884	1,273	+2,610	長期借入収入 3,000 百万円等、 長期借入金の返済 2,293 百万円、配当金の支払額 961 百万円、子会社の自己株式取得による支出 831 百万円等
フリーCF	1,018	5,416	4,397	

#### 4. 2016年5月期(2015年6月1日～2016年5月31日) 連結業績予想

2016年5月期の通期連結業績予想については、上期に一部コストの前倒しや一時的な原価増が発生したものの、今後も人材需要の高まりが期待されることから、2015年7月15日に発表した見通しを変更していません。

引き続き、当社グループは様々な企業ニーズにいち早く応えるため、ソリューションメニューの拡大に注力すると共に提案営業を推進し、更なる事業拡大に努めてまいります。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
<b>2016年5月期 業績予想</b>	<b>268,000</b>	<b>4,700</b>	<b>4,600</b>	<b>750</b>
2015年5月期 実績	226,227	3,490	3,343	214
前期比増減率	+18.5%	+34.7%	+37.6%	+250.2%

#### セグメント別通期連結業績予想 (修正) (セグメント間取引消去前)

(百万円)

	売上高	前期比	営業損益	前期比
HR ソリューション	264,140	+18.5%	9,920	+31.7%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負)他	219,800	+17.5%	2,990	+20.3%
エキスパートサービス(人材派遣)	133,380	+0.6%	2,990	+20.3%
インソーシング(委託・請負)	74,250	+68.8%		
HR コンサルティング、教育・研修、その他	6,300	+13.8%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	5,870	+21.3%		
キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)	15,450	+8.8%	2,650	+42.8%
アウトソーシング	28,890	+33.5%	4,280	+34.0%
ライフソリューション、パブリックソリューション	5,710	+5.1%	550	-
消去又は全社	1,850	-	4,670	-
合計	268,000	+18.5%	4,700	+34.7%

四半期ごとの連結業績、セグメント別業績データは <http://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載しています。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。